

あかるく
なかよく
たくましく



学校だより

武岡台養護学校 令和4年 3月11日(金)

学校ホームページアドレス
<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/Takeokadai-H/top.html>

「自立と社会参加を目指して」

教頭 満尾 泰浩

『いつも、おもちゃで遊んだ後、片付けもしないで散らかしたまま。』そして、子どもに掛ける言葉は、「片付けなさい!!」でしょうか。そんなとき、ちょっと子どもの立場で、気持ちを探ってみませんか。もしかして、片付け方が分からない?」としたら・・・。「一緒に片付けようか。」の言葉掛けが効果的かもしれません。



片付けができるのが当たり前でなく、片付けの方法から教えるつもりで一緒に片付ける。その繰り返しの中で、少しずつ、大人の方が、手を出すことを少なくしていき、その代わりに、片付けができたことをたくさん褒める。それが、子ども自ら片付けることの近道になるかもしれません。

子どもたちは、大人が思っているよりもたくさんの「できる」を秘めています。大人は、子どもが自分で「できる」環境を作り、子ども一人一人の「できた」を認め、賞賛しながら、子どもが自発的に「やる気スイッチ」をONにできるように支援していくことが大切だと改めて考えさせられます。

そして、その支援の積み重ねが、子どもが自分でできることを増やし、いろいろな人との関わりを広げ、進んで社会生活へ関わっていく大切な力につながると思います。



これまでの様々な学びや出会いの中で培ってきた力を子ども自ら発揮し、次のステップへチャレンジする時期がきました。可能性を最大限に伸ばしチャレンジしていく子どもたちに、私たち大人は、最小限の手を添えて、子どもの自立と社会参加を支援したいと思います。卒業、そして進級おめでとう。

〈小学部〉

小学部を卒業する25人の皆さん、御卒業おめでとうございます。元気にこの日を迎えることができ、正直ほっとしているのと同時に、感謝の気持ちでいっぱいです。

「かっこいい たのしい さすが6年生!!」を合い言葉に様々なことに挑戦し、下級生のお手本となる素晴らしい6年生に成長しました。見事に「6年生の壁」をクリアです。よく頑張りました。

両手を空にかざし、夏の風を感じながら出掛けたそらバスでの「校外学習」。砂蒸し温泉やハンモックでリゾート気分を満喫した「修学旅行」。早口言葉やせごどんダンスで鹿児島を紹介した「学習発表会」など思い出は尽きません。



そして、何よりも何気ない日常が大切な思い出になっています。ソーシャルディスタンスと言いながらも、家族のように心を通わせたひだまりのような時間がたまらなく居心地よく、幸せな時間でした。ありがとうございました。

また、学級を越えて学年の友達や先生とよく笑い、よく学び、よく遊び、汗と涙を流した6年生はとても素敵です。

これからも感謝の気持ちを忘れずに大きく成長し、中学部での更なる活躍を楽しみにしています。これからも応援しています。

(小学部第6学年 学年主任 藤井宏行)

<中学部>

祝
卒業

中学部を卒業する31人の皆さん、御卒業おめでとうございます。3年間を振り返ってみると、友達想いで優しく、笑顔にあふれた楽しい毎日だったと思います。一番に思い出すのは、楽しくダンスを踊っている様子です。運動会で踊った「ガッツ」や「ハピネス」「ダイナマイト」はもちろん、学習発表会の「メイクユーハッピー」「ハック」などを踊る姿は笑顔にあふれていました。練習は真剣に本番では笑顔を忘れずに踊る様子は頼もしさを感じることでした。体力づくりでのダンスや昼休みにエクササイズで取り組むダンスもこの学年の特徴だったと思います。

ほかにも、鹿児島について調べて維新ふるさと館に行った1年生の総合的な学習の時間。昼食は黒豚料理を食べましたね。2年生になると新型コロナウイルス感染症対策で色々な活動が制限される中、宿泊学習で南薩少年自然の家に宿泊し、万之瀬川でカヌー体験をしましたね。力を合わせて取り組む様子に日頃の仲の良さを感じました。3年生では1泊となりましたが鹿児島をめぐる修学旅行に行きました。錦江湾よりみちクルーズや染め物体験、みやまコンセールでのコンサートなど思い出はいっぱいです。

中学部を一緒に過ごした31人の絆はこれからも続きます。新しい友達や先生と出会い成長していくことでしょう。これまで支えてくれた友達や家族、先生たちへの感謝の気持ちを忘れずに、これからもダンスのように笑顔で楽しく、自分の道を一步一步進んでいってください。



(中学部第3学年 学年主任 川路康雄)

*** <高等部> ***



高等部を卒業する41人の皆さん、御卒業おめでとうございます。卒業を迎え、今のような気持ちでいますか。高等部3年間、そして、学校生活12年間を振り返ると様々なことを思い出すのではないのでしょうか。

高等部3年生では、「未来へ～今の自分から将来の自分へ～」を学年テーマに、1年間進路実現という大きな目標に向けて頑張ってきました。産業現場等における実習では、自分の将来を考え精一杯実習に取り組んだことで、大きな成長につながりました。その経験を生かし、一人一人が自分の進路を決めることができました。また、卒業後に必要な力を付けるための生活単元学習では、洗濯や裁縫、調理や金銭管理など実践的に学ぶことができました。さらに、みんなで力を合わせて取り組んだ運動会でのフォークダンス、学習発表会での演奏や手話は、見ている人に感動を与えました。

学校行事の中止や分散登校など思うようにいかない日々の中でも、皆さんの周りにはいつでも温かく見守り支えてくれる人たちがいたことを忘れないでください。そして、これからも思うようにいかないことがあったときには、この高等部3年間を思い出してください。この困難を乗り越えてきた自分自身に誇りをもち、支えてくれた人たちに対する感謝の気持ちが、皆さんの心の支えになるでしょう。

いよいよ12年間続いた学校生活から卒業し、「社会人」として生きていくこととなります。いつでも「自分らしく」、「なりたい自分」に向かって精一杯頑張ってください。私たちは、いつでも41人のサポーターです。一人一人が素晴らしい人生を歩んでいくことを応援しています。頑張れ、3年生41人!



(高等部3学年 学年主任 前田小百合)

